

とらじいさまの秋

Tojinkyo

SSKA

秋

No.227・2019 10.15

おもな記事

NPO東腎協第9回大会	表2
シンポジウム「災害時の透析医療をどう確保するか」	2
活動のまど	10
仲間のたより	15
国会請願について	21



臓器移植推進キャンペーン

 **特定非営利活動法人 東京腎臓病協議会**
(NPO 東腎協)

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2-40-11 富士大塚ビル2F TEL03-3944-4048 FAX03-5940-9556
<http://www.toujin.jp/> E-mail info@toujin.jp



9月15日(日)

於・主婦会館プラザF

NPO 東腎協第9回大会・シンポジウム



NPO法人東腎協第9回大会

9月15日(日)主婦会館プラザFで、NPO法人東腎協第9回大会が開催されました。

第一部は、東京都福祉保健局疾病対策課鈴木祐子課長はじめ、東京都議会各党からお祝いのご挨拶を頂きました。

また、全腎協、千葉、栃木、山梨、茨城の各腎友会からお祝いのメッセージを頂きました。



次に長期透析者(30年・40年)

の表彰が行われ、大会に参加された【40年表彰】末崎美子さん(個人会員)、菊地悦子さん(優人クリニック患者会)、【30年表彰】腰塚三津子さん(長久保ハナミズキ会)、小林英樹さん(松和患者会)、小峯由美子さん(あけぼのクリニックいちよう会)に表彰状と記念品が贈られました。

第二部は、東京都福祉保健局疾病対策課、東京都透析医学会災害対策委員会、東京都臨床工学技士会災害対策委員会の協力を得て、「災害時における透析医療をどう確保するか」をテーマにシンポジウムを行いました。約130名近い参加者は自分自身の問題として真剣に聞き入りました。(P2~P8)

【40年透析者・敬称略】

円谷博(あけぼの東腎会サルビア)、竹川和明(勝和なごみ会)、井上れいり(あけぼの東腎会サルビア)、石川剛正(高松病院腎友会)、高

木克子(高木グループ)、渡邊順

子(織本病院腎友会)、末崎美子(個人会員)、生田典子(個人会員)、菊地悦子(優人クリニック患者会)、松本健治(桃井診療所腎友会)

【30年透析者・敬称略】

谷口勝治(東海病院ひまわり会)、腰塚三津子(長久保ハナミズキ会)、小林英樹(松和患者会)、高橋良郎(吉祥寺あさひ腎友会)、熊谷郁子(村上病院ひまわり会)、秋庭満(聖橋クリニック腎友会)、矢浪流(小笠原クリニック友の会)、大河原晃(吉祥寺あさひ腎友会)、岩城雅子(高松病院腎友会)、富沢裕子(聖橋クリニック腎友会)、羽生賢二(国分寺こやま腎友会)、北村義明(すながわ相互診療所患者会いずみ)、見方道浩(東海病院ひまわり会)、小峯由美子(あけぼのクリニックいちよう会)、阿久戸則雄(八王子東町クリニックの実会)、菱山起枝(八王子東町クリニック桑の実会)

目次

NPO東腎協第9回大会	1	リレーエッセイ	9
シンポジウム「災害時の透析医療をどう確保するか」	2	活動のまど	10
東京都の取り組み	2	仲間のたより	15
東京都区部災害時透析ネットワークの取り組み	3	料理・	
三多摩腎疾患治療医会の取り組み	6	手軽にできる透析食	18
東京都臨床工学技士会の取り組み	8	はんぶん米のおいしい食べ方	20
		国会請願について	21
		事務局だより	23



東京都の取り組み
 東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課 鈴木祐子 課長

「災害時医療救護活動ガイドライン」

東京都地域防災計画で定める医療救護活動について、東京都では地域防災計画の中で医療救護対策をどのように行うかが「災害時医療救護活動ガイドライン」で定められています。

東京都としては、災害全体を統括する災害医療のコーディネーターを設置しております。医学的な助言を踏まえて、都内全域の医療

東京都地域防災計画で定める医療救護活動
 「災害時医療救護活動ガイドライン」(平成30年3月)

- 都は、都災害医療コーディネーターの医学的助言を踏まえて、都内全域の医療救護活動などを統括・調整
- 地域災害医療コーディネーター（二次保健医療圏）は医療対策拠点において情報を集約
- 区市町村は、区市町村災害医療コーディネーターからの医学的な助言を踏まえて、医療救護活動を統括・調整。医療救護活動拠点、医療救護所を設置する。

【医療機関】

- 「災害拠点病院」は、主に重症者の収容・治療を行う
- 「災害拠点連携病院」は、主に中等症者又は容態の安定した重症者の収容・治療を行う
- 「災害医療支援病院」は、主に専門医療、慢性疾患への対応、医療救護活動を行う
- 専門的医療を行う診療所（救急告示医療機関、透析医療機関、産科及び有床診療所）は原則として、診療を継続
- その他の診療所は、区市町村地域防災計画に定める医療救護活動又は診療を継続する

救護活動を統括・調整しています。さらに地域災害医療のコーディネーター、区市町村には区市町村災害医療のコーディネーターを設置し、医学的な助言を踏まえて医療救護活動を調整します。

医療機関の活動については、

- 「災害拠点病院」は、主に重病者の収容・治療を行います。
- 「災害拠点連携病院」は、主に中等症又は容態の安定した重傷者の収容・治療を行います。
- 「災害医療支援病院」は、主に専門医療、慢性疾患への対応を行います。

○透析医療機関は、専門的医療を行う診療所として、原則として診療を継続します。

「透析医療マニュアル」

都内で災害が発生した時の対応については、「透析医療マニュアル」を作成しており、その中で、○都内の透析医療機関は、原則として診療を継続し、透析の可否や被災状況等について自施設の透析患者、災害時の協力協定を結んでいる医療機関「都内ネットワーク事務局」に被災状況、透析の可否等を連絡します。

○自施設と連絡が取れない患者は

都内で災害が発生した時の対応

「災害時における透析医療活動マニュアル(改訂版)」(平成26年3月版)

- 都内の透析医療機関は、原則として診療を継続し、透析の可否や被災状況等について自施設の透析患者、災害時の協力協定を結んでいる医療機関、「都内ネットワーク事務局」に被災状況、透析の可否等を連絡。
- 自施設と連絡が取れない患者さんは「災害時透析患者カード」の他の透析施設と連絡をとる。
- 「都内ネットワーク事務局」はブロック間、ネットワーク間で受入調整を行う。

都内では透析医療の確保が困難と判断された場合

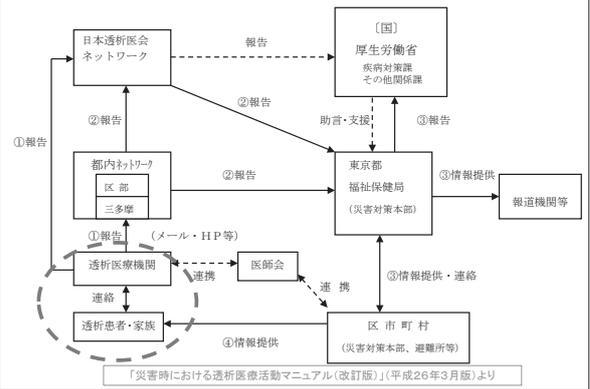
他自治体との協定等に基づき他県等に受入要請
 厚生労働省に報告の上、支援を要請

区市町村が設置する避難所における対応

「災害時における透析医療活動マニュアル(改訂版)」(平成26年3月版)

- ・透析患者からの申出や避難者名簿の作成により透析患者を把握。
- ・介護等の支援が必要な透析患者は、二次避難所(福祉避難所)に搬送。
- ・避難所に設置された相談窓口において、治療や食事療養に必要な支援を行う。
- ・医療救護を必要とする透析患者は、最寄りの医療救護所や受入可能な透析医療機関へ搬送。

図2 災害時の透析医療情報連絡系統図



「災害時透析患者カード」の他の透析施設と連絡をとります。東京都においては、すでに東京都からお送りしている「災害時透析患者カード」に掲載されている透析医療機関リストを参考にし、各自連絡をとります。

「災害時透析患者カード」については、ホームページ (<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/iryo/koho/books.html>) にて公開されています。○「都内ネットワーク事務局」はブロック間、ネットワーク間で受け入れ調整が行われる仕組みとなっています。

区市町村が設置する避難所における対応について、

○透析患者からの申し出や避難者名簿の作成により透析患者を把握しています。

避難所へ出向く場合は、区市町村は独自の防災計画を立てていますが、その中で配慮が必要な方々の名簿の作成に努めています。避難所の中では、透析が必要である旨申し出をすることが重要になります。

○介護等の支援が必要な透析患者

災害時透析患者カード

東京都は、「災害時における透析医療活動マニュアル」の一部を「災害時透析患者カード」として抜粋しました。全文は、東京都福祉保健局疾病対策ホームページで閲覧、印刷できます。

氏名	生年月日	電話
	S・H・R 年 月 日	
自宅住所	〒	
緊急連絡先	氏名	続柄
	住所	メール
透析施設	施設名	住所
	住所	メール

東京都福祉保健局

は、福祉避難所へ搬送されます。自分自身の状況をしっかりと伝えることが重要です。

平常時の心得として、通院中の透析施設の被災時に備えて、代わりの医療機関を把握しておくことが大切です。

また、必要な検査値や災害時の食事の工夫も大切です。

以上のように、主治医とのコミュニケーションをとりながら、災害対策に取り組んでほしいと思います。

「東京都透析医会災害対策委員会」と東京都部災害時透析医療ネットワークの取り組み

東京都透析医会 災害対策担当幹事・東京都部災害時透析医療ネットワーク

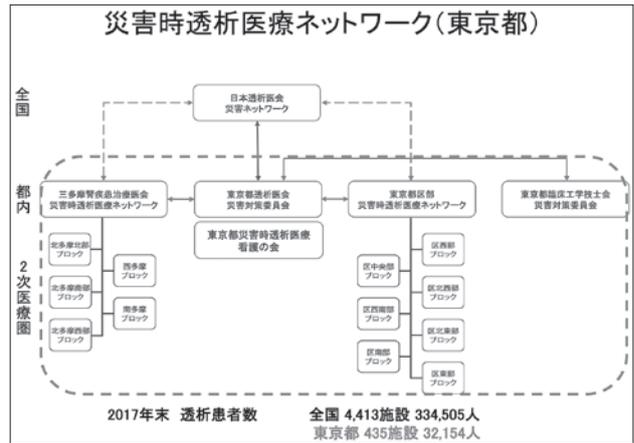
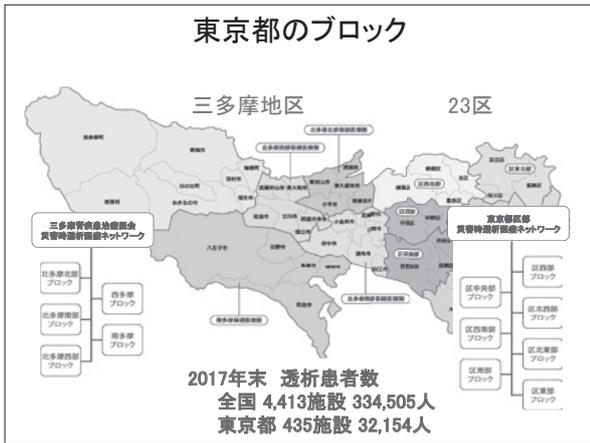
代表世話人 菊地 勘 先生

東京災害対策ネットワーク

東京都は区部を7つのブロックに分け、多摩を5つのブロックに分けています。東京は施設も患者の数も全国の1割を占めています。透析患者が非常に多くいます。元々多摩腎疾患の災害対策ネットワークがありました。この2地区が別々に活動をしていました。これまでは無かったのですが、昨年1月に、東京都透析医会の連携が大事となってくるという事で、災害対策委員会が出来ました。

「災害ネットワークの構成」

東京都透析医会というのは、日本透析医会の下部組織です。23区と多摩地区を結ぶ委員会ができて、はじめて東京都全体として災害対策に取り組む様になりました。東京都臨床工学士技会の災害対策委員会と23区のネットワーク・三多摩のネットワークを横で結び、東京都透析医会が災害対策委員会を発足しています。看護師は、今年7月7日東京都透析医会災害事業看護の会を作り、オール東京の透析医療のネットワークが完成しています。



東京都透析医会 災害対策委員会		
役職	氏名	所属
東京都透析医会 会長	安藤亮一	武蔵野赤十字病院
災害対策委員会 委員長	花房規男	東京女子医科大学
担当幹事	菊地勲	下落合クリニック
副委員長	酒井謙	東邦大学大森病院
副委員長	杉崎弘章	府中腎クリニック
委員	を伸也	杏林大学
委員	尾田高志	東京医科大学八王子医療センター
委員	小川哲也	東京女子医大東医療センター
委員	本田浩一	昭和大学
委員	田島真人	都立広尾病院
東京都透析医会 事務局	大坪茂	東都三軒茶屋クリニック
委員	岡本裕美	東邦大学大橋病院
委員	安部貴之	東京女子医科大学
委員	川崎路浩	神奈川工科大学
委員	吉盛友子	国立病院機構災害医療センター
委員	松岡由美子	上野透析クリニック
委員	今井早良	日本赤十字医療センター
委員	上田聰美	武蔵野徳洲会病院
委員	戸倉振	東京腎臓病協議会 会長
委員	宿野部武志	ベシエントフッド 代表理事

全国は日本透析医会の災害ネットワーク、東京都は5つが結びついたネットワークがあり、災害時にも透析が止まることの無い様に頑張っていく活動を現在展開している最中です。

20名のメンバーで東京全体の災害対策委員会は進んでおり、東腎協としては戸倉会長と元青年部の宿野部さんが入って、患者・医師・技士・看護師という構成で患者さんの目線からの意見を伺いながら、何が足りないのか今後も検討していきたいと考えています。

昨年1月に東京都透析医会が災害対策委員会を創設しています。

Tokyo DIEMAS (Dialysis Information in Emergency Mapping System)

緊急時透析情報共有マッピングシステム

- ・ 災害担当者(医師、技士、看護師、事務)
- ・ 患者数(独歩、担送、護送)
- ・ 災害時透析条件カードの配布
- ・ 透析室: 階数、ベッド数
- ・ 透析台数: メーカー
- ・ 送迎車両、規制除外車両の有無
- ・ 設備: 自家発電、貯水槽、貯水槽容量
- ・ スタッフ・患者との連絡手段

元々あった23区のネットワークとして、私と東邦大学大森病院的の酒井先生が代表世話人になって、1年半経ってやっと活動が充実して来たところではあります。

又、透析には、電力・水が必要で、災害時の電力供給・水道供給というものを拡充して頂くため、東京電力・東京水道局との会議等は常に行っています。

「災害セミナー」

昨年第1回、23区・三多摩の全地域の医療従事者を主に対象とした災害対策セミナーを開きました。Google上に載せたマッピングシ

ステムを用いて、施設の距離間や災害対策に役立つ取組みも始めています。東京都透析医会のホームページに東京DIEMAS(緊急時透析情報共有マッピングシステム)が載っていますので、ご覧下さい。各施設の電話番号・患者数・送迎の有無・車椅子等、様々な情報を載せています。災害時に役立ってほしいと思います。また昨年からは開いているセミナーは、東京透析医会・三多摩腎疾患・23区ネットワーク・臨床工学技士会・東京都の後援を頂いています。会員の皆様へ熊本地震の実際の状況や、どういう活動をしたかの報告をする場となっています。

今年も9月8日(日)に第2回目のセミナーを約600人の参加で、透析医療で昔から災害対策に取り組んでいる赤塚東司雄先生に講義をして頂き、1年間の活動報告をしました。

「広域の連絡」

又、他県との連携を取る会議を行いまして、「広域連絡会議」を、今年1月から始めています。他県の行政あるいは県の透析医会の代表の方達が集まって広域で何かあ

東京都透析関連企業連絡会議

災害時の物品供給と物流について

- 卸・代理店
- 医療材料・装置
- 製薬

製薬 大塚製薬株式会社
 製薬 小野薬品工業株式会社
 製薬 キッセイ薬品工業株式会社
 製薬 協和発酵キリン株式会社
 製薬 中外製薬株式会社
 製薬 鳥居薬品株式会社
 製薬 ニプロ株式会社
 製薬 バイエル薬品株式会社
 製薬 扶桑薬品工業株式会社
 製薬 株式会社陽進堂
 製薬 株式会社アグリス
 製薬 旭化成メディカル株式会社
 製薬 コヴィディエンジャパン株式会社
 製薬 株式会社ジェイ・エス・エス
 製薬 テルモ株式会社
 製薬 東レ・メディカル株式会社
 製薬 日機軸株式会社
 製薬 メディキット株式会社
 製薬 アルフレッサ株式会社
 卸・代理店 株式会社スズケン
 卸・代理店 東邦薬品株式会社
 卸・代理店 株式会社巴商會
 卸・代理店 株式会社ムサシエンジニアリング
 卸・代理店 株式会社メディセオ

何回か訓練をしています。西部ブロックでの訓練、関東臨床工学会の訓練、全国災害訓練、全国のDIT防災の会の訓練等に参加し、様々な事を訓練してきました。

「全国災害訓練」

9月7日 全国一斉に行われた訓練で、南部ブロックに参加しました。被害想定は、前日の6日午前11時 震度7の首都直下型地震が起きたという内容のシミュレーションで、東京都の一部で停電

った時に、連携を取り合える会を
 足立しています。
 更に回路やダイヤライザーの供給が滞らない様に東京都透析関連企業の方々との連絡会議を作っています。この中で、災害時には物流を含めた調整を行って、困っている地域には機材を届けようという取組みを、東京都透析医会では始めています。

ネットワークを作っても災害時に初めて動かすのでは、適応で出来ないかもしれないという事で災害の訓練を沢山、行っています。グーグルマップピングシステムの災害時モードを作り上げるために、

・断水により透析が出来ない事をもとにして、いかに振り分けるかの訓練を行って来ました。メーリングリストの活用をして、「情報を送って下さい」とメールを送ると12時間以内に透析ができる、出来ないかの返事がきて、把握がすぐ出来る様になっています。
 被災施設で大切なのが、何人の患者さんがいるのか？という事で大田区の患者さんを花房先生と酒井先生で入院患者を振り分け、安藤先生と私で外来の維持透析の振り分けを、二人ずつで交通情報を得ながら、どう振り分けるのかの訓練をしました。1つの地域だけ

でも振り分けに、3時間くらいかかりました。ほぼ出来上がっていますが平時の情報をよく、そして災害時には迅速に把握するシステムが必要となってきました。

直近で心配なのは直下型地震よりも、区北部、区東部が非常に水害に弱く、浸水地域になっていきます。東京都の中で対策が必要ですので、西部や三多摩地区に避難するという事が、当然考えられます。その様な事を想定した訓練を継続してやっていく予定です。

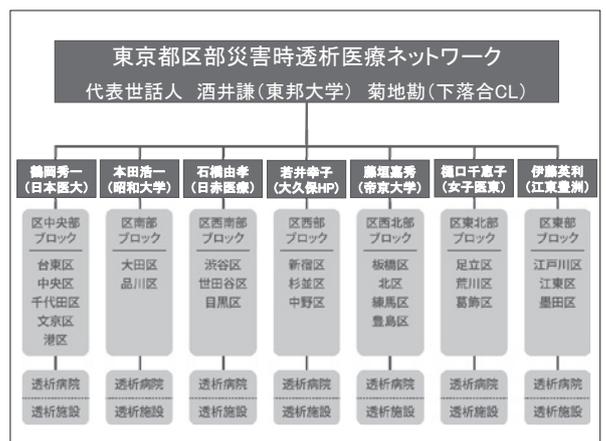
東京都透析医会災害対策委員会

- 都と行政との連携
 - インフラとの連携
 - 日本透析医会との連携
 - 他県との連携
 - 業者との連携
 - 送迎バス等使った運送
 - 情報システムの構築
- を目的としています。

23区のネットワーク

地域に密着した取組みを行っています。

東京都区部災害時医療ネットワークで、7つのブロックに分かれ



て、基幹病院の先生方がブロックを束ね、それぞれの区にも区の担当者・責任者がいます。

23区のネットワークのホームページがあり、災害に特化したものです。災害速報には、30分以内最新の情報を載せる様にしています。メーリングリストで受け入れの出来る施設を表示、3日分の情報が集まってきました。災害が起きたら直ぐに把握するようにしています。

普段からどうやって受け入れが出来るかを把握するシステムの構築が重要となってきました。平時から情報共有が大切になってきます。

「ブロック・区で勉強会」

ブロックでも医師・技士・看護師・事務職が集い、さらに保健所所長も参加して勉強会も開いています。又、救護所等は区で立ち上げるものですので、区ごとでも勉強会を開いて、連絡体制を構築しています。

区↓ブロック↓23区そして東京都という連携の流れで透析も出来ています。区の担当者からブロック長、区部のネットワーク↓災害対策委員会に情報が上がってきて、グレーのシステム、MCA無線、メーリングリストによって報告があり、振り分け活動を行っていくのが、実際の災害時の流れになっています。

1番大事なのは、各クリニックが状況を把握する事です。いくらネットワークが出来あがっていても報告がないと状況が把握できません。各クリニックでも災害本部を立ち上げなければなりません。

- その対策本部では、
- 職員及び職員家族の安全確認
- 患者さんの緊急避難及び安全確保

- 周辺環境の確認
- 自分の施設の設備・ライフライ

ンの確認

- 職員を集める
- 透析が出来るかどうかを連絡
- 患者さんに伝達（クリニックによって方法が違う）
- という手順になります。

「災害時の透析時間」

知っておいて頂きたいのが、平時の透析時間とは違ってきます。自分の施設が被害を受けている、受けていない場合でも他からの透析患者さんを受け入れることになります。それと入れ替えや抜針の時間、機械の洗浄時間が必要となります。多くの患者さんを受け入れる為、いつもより短くなる（3時間位）と心構えて欲しいです。

茨城の水害の時も、東北の震災の時もそうでしたが、全員が近い所に振り分けられない、どうしても遠くなる事もありますので、災害時の協力体制で行っていますのでご承知おきください。

「小規模災害で設備がダメになった」「排水が出来ない」「漏電で停電になった」等で、一時的に避難地域をさがしたり、小さい事にも取り組むのが23区のネットワークの役目だと思います。

まとめ

災害はいつ起こるか分からないので、平時からの準備が重要となる。

- 自助：自分(家族)の身は自分(家族)で守ること
- 共助：近所あるいは地域の人と助け合うこと
- 公助：市役所、消防、警察、自衛隊による公的な支援のこと

自助・共助・公助

災害はいつ起こるか分からないので平時から、皆さんも我々も、ネットワークも準備が必要となります。自助として、自分でする事に取り組まなければいけないのか？共助に関しては、ネットワークが考える事であり、その中で出来なければ、最終段階までになった時には、東京都にお願いする事になります。我々で頑張っているが、できるだけ我々が頑張っていると思っ

「三多摩腎疾患治療医会」の災害対策の取り組み

三多摩腎疾患治療医会 災害対策委員会

委員長 尾田高志 先生

三多摩（西多摩・南多摩・北多摩）地区の災害対策の取組みについては、今までは、都区部と三多摩地区がそれぞれ独立して日本透析医会のもとで行われていました。昨年、東京都透析医会 災害対策委員会が設立され、連携を進めて行こうという事になりました。特に都区部は臨床工学技士会がタイアップして新しい事を進めてきて、活発な活動をしています。三多摩は従来からタイアップして活動をして来ています。

「新体制」

新しい体制にタイアップする為、リニューアルに合わせてメンバーが変わったところです。5月26日付けの三多摩腎疾患治療理事会で、災害対策委員会として主に自助・共助という事に関して活動されてきた府中腎クリニックの杉崎先生より引継ぎ、新しく都区部とタイアップして行くことになり、リニ



ユールして、私が委員長に就任しました。又、7月31日付けで新しい災害対策委員のメンバーが決まりました。

本部は、杏林大学の要伸也先生が三多摩腎疾患治療医会の理事長、武蔵野赤十字病院の安藤先生は、東京都透析医会の会長でもありますが、副理事長として本部に入っています。副本部長として、八王子医療センターの私、尾田が入っています。

「災害が少ない地域」

都区部と比べて標高も高く、水害にも強いですし、地盤も強く

て、液状化も可能性が少ないと考えております。山間部という事で、土砂災害を除くと三多摩地区は、都区部と比べて災害リスクは少ないと思われれます。

「二次医療圏」

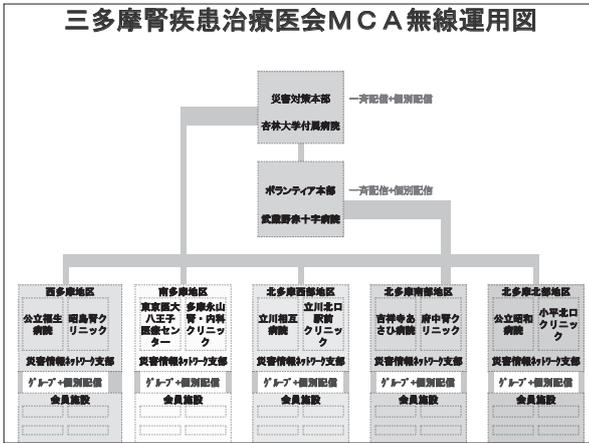
多摩地区は広いので、北多摩をさらに3つに北多摩西・北多摩南・北多摩北に分けていまして、三多摩を5つのブロックに分けました。それぞれ5つ〜8つの市町村が含まれています。この様に第二次保健医療圏に振り分けられています。

二次医療圏の、それぞれ災害のリーダーが必要ということで新しいメンバーのもと、本部長、副本部長、ブロック長を決めました。それぞれ各ブロック長、2〜3名の副ブロック長がいます。医師だけでなく、臨床工学技士、看護師と協力して災害対策をしなければならぬと思います。ですので、三多摩地区臨床工学技士会代表の災害対策メンバーもメールリングリストという形ですぐメール出来る様なシステムが出来ています。看護師会の方達も出来つつあるところ。

「災害対策委員会開催」

8月に第1回三多摩腎疾患治療会・災害対策委員会を「キットオフミーティング」として、安藤先生（東京都透析医会会長）、要伸也先生（三多摩理事長）、私、尾田、杉崎先生（前任災害対策委員長）、その他臨床工学技士の先生方、看護師会の方も出席して開催しました。これまでの災害対策活動を報告。精神的な活動はずっとしてきましたが現行も動いているのか、どういふものかを、新しいメンバーで情報共有をしました。

三多摩には、M A C無線が12か所に配備されて、訓練をしてきま



したが、新しく8か所につくって、年1回だけだった実施訓練を毎月行なう様、すすめているところですよ。

東京都DIEMASの災害対策ツールとしての概要を、リニューアルした新しいメンバーで川崎先生に紹介して頂きまして、情報共有しました。

「今後の活動」

今後、対策会議を年1・2回、していくと共に、ブロック長代表者の会、各ブロック内の会議が重要となります。ブロック長会議で、討議予定事項として、情報伝達の訓練、これはMCA無線とか、さらに拡充して配備して、訓練回数を増やすとかです。

「トリアージの重要性」

災害時には必ずしも、皆さんがお元気で透析を受けに来られる方ばかりではなくて、例えば、肺炎にかかったり、急性腎不全と言って急に腎機能が悪くなり透析を開始される方、重症患者さんもあります。皆が皆同じように、そして透析のクリニック・施設が足りないというだけでなく、災害時の腎不

臨床工学技士会（三多摩）災害対策委員

山田 裕信(再掲)	杏林大学医学部附属病院
梅田太一郎(再掲)	東京医科大学八王子医療センター
川崎 路浩	神奈川工科大学
大水 剛	三友会あけぼのクリニック
渡邊 徹	石心会昭島腎クリニック
小栗直也	東海大学医学部付属八王子病院
黒田 和良	稲城市立病院
吉野 和則	幸町腎クリニック
山内 工	府中腎クリニック

看護師会（三多摩）災害対策委員

吉盛 友子	災害医療センター
上田 聡美	武蔵野徳洲会病院

全患者さんの重症者・軽症者のトリアージが必要となつてきます。何処に誰が振り分けて、施設を考えていくかという事を検討する事となります。

「行政との連携」

三多摩地区は今まで主に自助・共助を進めてきました。その為、行政との連携が進んでいないと思います。今後、都の行政担当の方と密な連携を構築していきたいと考えています。ブロック内で、より細かい、それぞれの市町村の行政との連携を重視して進めていきたいと考えております。

「まとめとして」

○災害対策メンバーが刷新され、私が新しい災害対策委員長となりました。

○リニューアルに伴う、キックオフミーティングを開催しまして、活動方針を確認して、新しいメンバーで活動を開始したところです。

東京都臨床工学技士会の

災害対策の取り組み

（一社）東京都臨床工学技士会災害対策委員会

東邦大学医療センター大橋病院
臨床工学部 岡本裕美 先生

災害に遭遇した場合

災害に遭遇した場合、自分自身が怪我するかもしれないし、家族が死傷したかもしれないし、自宅が倒壊したり、流されてしまうかもしれません。さらに、食料や住居が確保できないかもしれないし、ライフラインが途絶えているかもしれない。

そんな状況の中でも透析患者は透析治療を継続しなければならぬのです。生命維持の為、透析を中断することはできないのです。透析をするためには、電気や水などのライフラインが必要不可欠に

なります。

透析医療は災害に最も弱い医療であり、様々な対策が必要です。そのためにネットワークを構築していく必要があります。

○リニユーアルに伴う、キックオフミーティングを開催しまして、活動方針を確認して、新しいメンバーで活動を開始したところです。

首都直下型地震時の時の透析医療は、どうなるか。

○透析治療中、建物は大丈夫なのか。

○建物内の状況はどうなのか。

○透析治療は、継続できるのか。

○水・電気などのライフラインが途絶えてしまうかもしれない。

○自施設で治療を受けられるかなど、不安材料がたくさんあります。

災害時における自助・共助・公助については、自助7割・共助2割・公助1割と言われており、自助が圧倒的に高くなっており、自助に委ねていることが透析医療の実態になっています。

首都圏直下型地震のように被災透析患者が何千人単位で発生する時には、狭い地域で多数の施設が（現在、東京都内427透析施設あり）透析不能となります。その為、患者の自助に委ねる部分が非常に大きくなっています。

近年の大地震

	阪神淡路大震災	新潟中越地震	福岡西方沖地震	東日本大震災	熊本地震	北海道胆振東部地震
	1995年 1月17日	2004年 10月23日	2005年 3月20日	2011年 3月11日	2016年 4月14日	2018年 9月6日
最大震度	7 (直下型)	7 (直下型)	6弱	7 (海溝連動)	7 (直下型)	7 (直下型)
死者	6,434 90%圧死	68	1	15,843 0%水死 4.4%圧死 1.1%焼死	267 0%溺死 20%窒息死 20%圧死	41 80%窒息死
行方不明	3			3,469		
負傷者	43,792	4,705	1,204	5,890	2,804	749
全壊	186,175	3,175	144	126,315	8,673	415
半壊	274,180	13,810	353	227,339	34,726	1,346
二次災害	側襲	土砂崩れ	液状化	津波 地盤沈下 液状化	土砂崩れ 地盤沈下 液状化	土砂崩れ 大規模停電 液状化

地震大国のわが国では、大地震が起こりうる可能性があります。

先人達は、経験した多くの教訓と対策を残してくれています。これまでの人生で災害に無縁だったとしても、現在想定されている、首都圏直下型地震や東南海トラフ地震などが自分の身に降りかかるのは今日かもしれません。

「Tokyo DIEMAS 緊急時透析情報共有マップシステム」を活用し、情報を共有しながら災害時の対応を考え、そして災害時の透析医療を確保することが大切です。

リレー エッセイ

5歳で発症、50歳で透析へ

私の腎臓病の始まりは5歳の夏の頃でした。浮腫が出て、近くの小児科の病院へ行くと、「入院しなくては、いけない」と言われ、その先生の勤め先である病院に1ヶ月近く入院しました。退院後は、腎臓が悪かった事も忘れ、普通に生活して過ごしました。

体に異常が出始めたのが50歳になる年で、タンパク尿が出ていたのです。体のだるさや吐き気、浮腫もあって、近くの病院へ行く、「腎臓が悪い」と言われて、墨田区の墨東病院の先生を紹介されて、そこで透析となりました。

その後、墨東病院の先生のご紹介で、菊川橋クリニックに入院し、20日後にシャントをつくり、グループの天神橋クリニックに転院し

ました。

病院嫌いの賜物が週3回の病院通い、つまり透析生活となりました。

腎友会との出会い

腎友会入会については、当初、関心はありませんでしたが、ただ本棚に「ぜんじんきょう」「とうじんきょう」という雑誌が積まれている、読んでみたいなあという思いがありました。

それから1年が過ぎ、腎友会に入会しました。その翌年の総会に出席すると、会長から、「野口さん幹事やって頂けませんか？」と言われ、断る術も分からず、そのまま引き受けてしまいました。これが私の腎友会役員のスタートでした。

幹事を7・8年

幹事としての役目は、入会のお願いと会費などの集金、雑誌やお知らせなどを会員に配布することなどでした。

私は午後透析でしたので、お勤めの方も多く入会のお願いは私としては難儀でした。すんなり入会頂ける方は少数で、いきなり「お断りします」と言われる事が多く、無情感を覚えました。

この幹事を7・8年勤めまして、5年前に中島博和さんが会長に就任して、副会長に推されました。

今年から東腎協理事に

中島会長が東腎協の正会員の時に、東部ブロックの会合や総会、大会に誘われ、東腎協の諸先輩の

方々のお名前を知り、又、活動の様子がわかってまいりました。後に正会員を任されました。

そして今年、中島会長さんから、「東腎協理事になってはどうか？」と言われ、迷っていたのですが、推薦状が出され、結局今年の総会で理事に就任いたしました。今までの自分を思うとき、自分の性格とは違う方向に進んでいるのではないかと思います。

医療制度を将来に継続

透析には、高額な治療費が費やされています。そのため「お金の切れ目が命の切れ目」といわれた時代に、先輩の透析患者の方々が立ち上がり、「いつでも、だれでもどこでも透析が受けられるように」とのスローガンのもとに医療費の助成制度やその他が生まれました。

この制度を将来へ継続するためには、諸先輩方の並々ならぬ苦勞と努力、そして熱い思いを忘れずに、感謝の心を持って、一人一人の透析患者が全腎協や東腎協を守り立てていかななくてはいけないものと思っています。

野口 忠男さん (65歳)



透析16年

NPO法人東腎協理事
清湘会記念病院腎友会

とうじんきょう 活動の まど

多摩ブロック

多摩ブロック正会員会議

7月21日(日) 立川アイム
理事 中野 雄蔵

2019年度多摩ブロック正会員会議が7月21日(日)午後1時15分から4時迄、立川市女子総合センター(立川アイム)で開催されました。参加者は24名。

初めに、本年度の東腎協総会で選出された戸倉新会長、梅原多摩ブロック長、関口・小林・横溝・根津の新理事4名の紹介がありました。

挨拶に立った梅原ブロック長は、多摩ブロックの会員拡大を柱に、全力で発展させ貢献したい旨の決意を語りました。各理事からも新

任の挨拶がありました。

続いて板橋事務局長は、東腎協総会の報告と、現在進められている東京都透析医会災害対策委員会の概要と東腎協との連携、とりわけ三多摩地区の取り組みについて報告がありました。

また、梅原ブロック長から多摩ブロックの本年度の活動及び年間スケジュールの説明がありました。休憩をはさみ、全体会議に入り、出席者は自己紹介をしながら、各患者会のあり方など活発な議論が行われ4時に閉会しました。



多摩ブロック正会員会議

(お知らせ)

○多摩ブロック個人会員交流会
日時…11月17日(日) 13時半～
場所…立川総合女子センター(立川アイム)
内容…①災害対策について②医療費助成制度について③その他

東部ブロック

東部ブロック正会員会議

7月21日(日) ティアラ江東
東部ブロック長 酒井 豊

東部ブロック正会員・個人会員会議は、7月21日ティアラ江東A会議室において14時より23名で開催されました。

戸倉新会長による挨拶で始まり、東腎協年間スケジュール、新理事紹介、参加者自己紹介を経て次第に沿って行われました。

患者会・個人会員が抱える問題では、戸倉会長から、会員の減少に加え新規加入者がいない現状や、高齢化が進む現状の中で、若手の役員の育成を進めて行くことが重要と報告がありました。

東部ブロックにおける災害対策については、戸倉会長から東京都透析医会災害対策委員会の取組、理

事、正会員名簿の更新など話を具体的に説明してもらいました。全体的にはかなり前向きに皆さんの意見交換できたと思います。

(お知らせ)

○東部ブロック勉強会
日時…11月17日(日) 14時～
場所…ティアラ江東A会議室
内容…「災害時食について」
講師…上野透析クリニック
看護師長 松岡由美子さん
アドバイザー…清湘会記念病院栄養科科長 中尾優美子さんの予定です。



東部ブロック正会員会議

北部ブロック

北部ブロック正会員会議

8月4日 ルノアール巢鴨
理事 三好 かおり

北部ブロック正会員会議は、8月4日(日)ルノアール巢鴨会議室で13名の参加で行われました。

榊原ブロック長の開会挨拶の後、①北部ブロックの活動について②災害対策について③東腎協活動について話し合われました。

会員拡大については、榊原ブロック長から、患者の無関心さが会員獲得の支障になっている、患者会に対する理解度を上げる方策を考える必要がある、患者会の存在意義をどう出すかが重要と報告がありました。

災害対策では、院内災害時の訓練や患者の透析カードの配布など各区のハザードマップの収集をしていく方針です。

次に参加者から患者会の現状、問題点などが出され、会員の高齢化、体調不全で活動ができない、専門的な勉強会をもっとやってほしいなど、いろいろな意見が出されました。



北部ブロック正会員会議

中南部ブロック

中南部ブロック正会員会議・個人会員会議

8月4日ルノアール新宿三丁目
理事 須賀 春美

8月4日個人会員交流会を午前、正会員交流会を午後に行いました。

個人会員交流会では、自己紹介の後、ふだん困っている事等を相談しました。個人会員さんは、他の患者さんと接する機会が少ない為、平日の夕食会、交流会の提案



中南部ブロック正会員会議

がありました。又、CAPDの方からはCAPD患者同士の情報交換の場が欲しいとの要望がありました。

どちらも今後、検討して行く事になりました。

午後から行われた正会員会議には、戸倉会長、板橋事務局長も参加しました。初めに戸倉会長よりご挨拶頂き、災害対策についてお話しして頂きました。その後、皆さんで今後の患者会のあり方、今の問題点を話し合い、情報交換を行い終了しました。

第85回

関東ブロック会議(甲府)

古暮 宏

8月24日(土)〜25日(日)に第85回関東ブロック会議が、山梨県甲府市ホテルクラウンパレスで開催され、全腎協から榊原理事、各県腎協から2〜3名、東腎協から戸倉会長、古暮副会長、板橋事務局長が出席しました。

中島山梨県腎協会長、全腎協の榊原理事の挨拶があり、早速本日の議題であった、今後の関東ブロック会議の開催方法について、各県腎協からのアンケートに基づき活発な意見交換が行われました。

結論として来年度からも年2回開催し、従来の組織対策・災害対策は2回のブロック会議内で行うことになりました。

その後、山梨県腎協から勉強会「終活時の透析をどうするか?」と題して、この問題にかねてから取り組んでいる長崎県の事例が報告され、関東ブロックとしても今後何らかの働きかけが必要であるのでは?と感じられました。

勉強会終了後、夕食会・懇親会

が行われ、和気あいあいの中で情報交換が行われる場となりました。翌日は午前9時から会議が開催され、各県腎協の現況等について報告が行われ、患者会役員の高齢化による活動の低下、新会員がなかなか入らないため、会員減の歯止めがかからない、厳しい組織運営を強いられているとの各県腎協の共通した報告がありました。

また、先に行われた参議院選挙で、全腎協から自民党の石田議員への選挙応援依頼があったが、東腎協としてはNPO法に抵触すること、従来の全腎協としての政治的に中立な立場から明らかに問題があることから、全腎協に「意見書」を提出したことを報告しました。

各県腎協からも賛同の意見が出されたが、関東ブロックとして、全腎協に対し抗議をすることは行わない事になりました。以上2日間における会議は無事に閉幕しました。

次回、関東ブロック会議は12月1日(日)東京で開催されます。



第85回関東ブロック会議

関東ブロック青年交流会 in さいたま

さいたま

8月31日(土) 13時30分から、浦和ワシントンホテルで関東ブロック青年交流会が行われ、東京都を含む各県青年部、オブザーバー、会員など33名が参加しました。

NPO埼玉友上野会長の開会挨拶、来賓挨拶、関東ブロック青年代表の挨拶の後、「障害者の就労支援について」新船孝子先生から講演があり、ハローワークや民間職業紹介事業者以外の自治体が行



関東ブロック青年交流会 in さいたま

う支援について学ぶことができた。

続いて行われた座談会では、神奈川腎友会事務局員の阿部充子さん、埼玉腎臓病友の会青年部副部長渡邊真也さん、東腎協青年部の永見明子さんの「就労体験」が語られました。

2日目は全腎協青年研修会の報告と、各県の活動報告、各県の青年部の会員登録の仕方や個人会員と患者会会員の取り扱いなどについて話し合われました。

2020年度東京都予算要請

8月29日(木) 東腎協から戸倉会長をはじめ古暮、梅原、榊原、野口、三好、板橋の7名が参加し、東京都に来年度の15項目に分けて

- ① 各種医療制度の継続維持継続
- ② 「医療費助成制度・難病医療費助成制度の堅持拡充」
- ③ 回答：来年度も継続していききたいと考えております。
- ④ 「新規70才未満も対象に」
- ⑤ 回答：心身障害者福祉手当につきましては、介護保険制度との整合性を図るため見直しを考えていません。
- ⑥ 2 要介護透析者への支援強化
- ⑦ 「公費による移送助成を」
- ⑧ 回答：通院送迎対策の実施につきましては、都の医療費助成制度としては、考えておりません。
- ⑨ 「透析と介護施設の併設・増設を」
- ⑩ 回答：高齢者が住み慣れた地域で生活出来るよう、地域包括システムの構築を目指しています。地域偏在の緩和・解消と整備水準の向上を図って行きます。
- ⑪ 「療養病床の増床計画の推進」
- ⑫ 回答：病床機能の整備・転換を行う医療機関に対して費用の補助を行っています。
- ⑬ 「腎臓病患者介護の認定制度を」
- ⑭ 回答：介護専門員は、資格登録時

に受講する研修において、腎臓病の特性や留意点について講義を行っています。

3 CKD（慢性腎臓病）への取り組みについて

⑦「CKD予防キャンペーンの予算化を」

回答：WEBサイト・リーフレットなどで、「早期発見」「早期治療」に努める。都の公立学校の健康診断では、平成30年より、血清クレアチニンの検査が追加されている。

⑧「都民の集いの支援強化を」

回答：令和2年3月15日会場の確保の協力をします。又、東京都の広報媒体を通じて周知させて頂く。

4 腎臓病患者の救急医療について

⑨「救急医療体制の強化を」

回答：何時でも、何処でも、誰でも、症状に応じた医療が受けられる様、救急医療体制を目指しています。医療保険計画に基づいて救急医療での確保していきたい。

5 透析医療の安全について

⑩「安全について行政指導の強化を」

回答：病院に対して定期的（3年に一度のペース）な立ち入り検査をし、助言・指導を行っている。

医療事故発生の報告があった場合、速やかに立ち入り検査を行っている。

6 患者中心の透析医療について

⑪「患者中心の透析医療を」

回答：本年4月、都内全病院や医療機関に対し、インフォームドコンセントの徹底について周知しました。

7 透析患者への大災害対策について

⑫「収集取得手段の明示を」

回答：災害時の透析医療活動マニュアルや災害時透析患者カード策定し、避難所で必要な情報を得られる様、区市町村に周知している。都道府県を越えての広域的な仕組み作りにも動いている。

8 再生医療と臓器移植について

⑬「再生医療の推進を」

回答：移植を希望する方に腎臓移植組織適合検査の一部を助成している。又、IPS細胞による細胞治療法の開発のプロジェクト研究に取り組んでいる。

⑭「移植キャンペーンの協力を」

回答：臓器移植キャンペーンの共催者として、カードの作成・配布。区市町村・保健所・移植コーディネーターを集め、意思表示の定着

に努める。グリーンパレードも都の後援として協力。

⑮「雇用環境の整備を」

回答：障害者雇用支援フェアでの「障害者雇用促進ハンドブック」の配布し、雇用環境整備の重要性を理解して頂く様努める。「東京都難病・がん患者就労支援奨励金」制度を平成29年度に設立し、治療と仕事の両立に向けて取り組む企業を支援している。

都議会ヒアリング

都議会ヒアリングは、7月30日（火）日本共産党東京都議団、8月1日（木）都民ファーストの会、8月20日（木）都議会公明党、都議会自由民主党、都議会立憲民主党・民主クラブとのヒアリングを行い、2020年度東京都予算要請事項の説明と要望を行いました。



各党ヒアリングの様子

第39回臓器移植普及推進キャンペーン

10月6日(日)
上野恩賜公園



2019年度の第39回臓器移植普及推進キャンペーンは、台風18号の影響もあって、朝から小雨が降る中、東京都疾病対策課、東腎協役員・会員・東京医大八王子医療センターの先生や看護師さん、東京女子医大移植者の会（あけぼの会）など総勢

49名の参加で行われました。午前の部は午前10時から、午後の部は、13時から、NPO東腎協戸倉振一会長の開会挨拶、共催の挨拶を東京都疾病対策課鈴木祐子課長、東京医大八王子医療センターの岩本整副センター長、東京女子医大移植者の会・あけぼの会の

小柳啓一さんの挨拶がありました。開会式の後、時折強く降る中で、道行人たちにドナーカード入りのティッシュと全腎協のネーム入り風船、またアンケートに答えてくれた人には、オリジナルピック・パラリンピックの記念バッジ（東京都より寄贈）やグリーンリボンバッジを配布しました。八王子医療センターのスタッフによる「健康相談」コーナーでは、雨の中でも真剣に相談する方が大勢いました。



岩本副センター長



東京都鈴木課長



あけぼの会小柳さん





今年で40年となりました

東京健生病院サポテン会
工藤松太郎 (67)

1979年7月9日 透析導入
し今年で40年となりました。

24歳で慢性腎炎と言われ 27歳
で透析導入その半年後に長男誕生。
最初の目標は「長男が20歳になる
まで付き合いたい」。キャッチボ
ールと喧嘩の仕方は 教えたいと
思いました(笑)。透析を宣告さ
れた時「それじゃあ人並みに子育
てでもするかと思ったことを覚え
ています。

3人の子宝に恵まれ、たまたま
好きな仕事(グラフィックデザイ
ン)だったので子育てと仕事は楽
しくやってこれました。

フリーになっていた51歳の時、
腎臓に癌が見つかり最短で入院
できる内視鏡を選択、幸いな事に
病気を理由にクライアントに迷惑
をかける事は一度もありませんで
した。

次の目標「導入時の年齢 27歳
と同じ透析年数27年」もクリアし
た時、長男26歳、長女24歳、次
女22歳と成長し、父親としての役
目は、ほぼ果たしたと思います。

60歳を過ぎた頃から合併症(透
析アミロイドシス)との共存。
骨盤一部穿孔。手根管症候群(手
術2回)肩、肘、股関節、膝、足
首、指の炎症(指に至ってはバス
タオルで背中を拭いても痛めま
す)。周りの協力を得ながら続け
てきた仕事も64歳でリタイア。65
歳で狭心症。67歳の今年、膝炎、
黄疸(肝炎)、胃腸炎と内臓トラ
ブル発生。

現在「酸化・糖化させない食事、
よく噛んで 腹8分を心がけ」、
元メジャーリーガーのイチローが
使っているマシンのあるジムに
通い、QOLの劣化と折り合いを
つけつつ「身体の手入れを趣味」
とする日々です。肘、指をいたわ
りながら「前患者会・現患者会の

会報の制作」で患者会活動にも参
加しております。

通院している東京健生病院透析
室の主治医、スタッフの理解ある
サポートを受けながら「自力で生
活すること」が引き続きの目標で
す。

第十五回川柳コンテスト

優人クリニック患者会
川柳係 井上健史

練馬区の優人クリニックで患者
会による第十五回川柳コンテスト
が開催されました。

審査員は前回コンテストの成績
優秀者十二名で、六十句の応募の
中から投票の結果、次の句が優秀
作品に選ばれました。川柳では一
位から三位を天地人と呼び、五客、
秀と続きます。

テーマ「私の健康法」

天	しっかり食べて眠って 八千歩	木曾康子
地	笑うこと免疫増えて 味方する	久保光子

人 長生きは快食透析
ノ一天気 中島立身

五客 女子会はダイアライザー
心のネ 木曾康子

五客 妻の笑みあれば百まで
生きられる 中島立身

五客 毎日を楽しく笑い
長生きを 山口君子

五客 一万歩自慢はしたが
医者通り 夢老い人

五客 薄塩にある長生きの
処方箋 五反田琴彦

秀 月一のゴルフ楽しむ
楽天家 清水猛

無理しない齢をとったら
できるだけ 神野克之

ドクターのぬくもる
コメント心にしみる 篠原弘子

ほめたたふ天（あめ）の
鶴（たず）群れ
野にひびく 福田清子

うれしいなあの子に
会える透析日 八洲昭二

杖なくて歩ける私
少しだけ 大野滋美

ひ孫抱くまでは死なぬと
願かける 広河聖都

百でなおラジオ体操
欠かさない 広河聖都

運命と明るく生きる
残る日々 永森敏男

幼な子とラジオ体操
六時半 木曾康子

川柳で頭落語で
腹かかえ 宮崎光

ご馳走も食らないで
腹八分 広河聖都

ジムに行き五千歩歩き
汗をかく 清水猛

塩分を控えりや卒寿
夢じゃない 五反田琴彦

早起きし薄茶一碗
飯五勺 崑三二

吉野家の牛丼食べて
気分晴れ 清水猛

健康法皆と披露も
この程度 夢老人

律義者肉屋八百屋を
つぶす気で 宮崎光

食べすぎず飲みすぎないで
よく透析 中屋敷宗

電動の車椅子駆け
銀座ゆく 宮崎光

ウォーキング静けき朝に
迎へ来る 森山藤男

農園を借りて朝から
土いじり 丸山みね子

ラーメンの汁は飲まない
主義に変え 八洲昭二

健康は家事する量で
はかります 大野滋美

ダイエット明日（あした）
明日へ先送り 丸山みね子

古いラジオ取り出して
体操はじめし八十三才 篠原弘子

ポジティブなことのみ
思う余生かな 八洲昭二

透析し朝湯朝酒
昼寝酒 崑三二

何故太る食べてなければ
増えません 優人スタッフA

第七回「東京歩こう会」 は大田区洗足池界隈の周 遊でした

9月1日（日）、第7回「東京歩こう会」が大田区の洗足池周辺で開かれました。今回の参加者は、お子さんを含む27名でした。東部、北部、多摩ブロックの方たちには、場所が遠くて大変だったと思いますが参加して頂いて大変嬉しかったです。



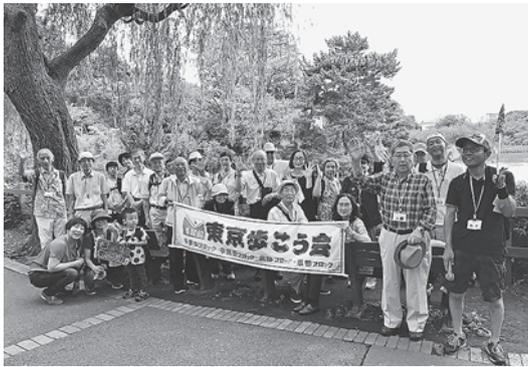
洗足池周辺で

10時30分、東急大岡山駅前を出発し、大岡山北口商店街を抜けて最初の目的地清水窪弁財天へ向かいました。この清水窪という所は、洗足池の主たる水源の一つで大量の水が湧き出ている結構涼しかったです。この水源には、小さな祠が沢山あって皆さん思い思いにお参りされていました。お参りしたあと、目的地の洗足池に向かいました。池に近づくにつれ木が沢山生い茂っていてとても良い気持ちになりました。池に着いて皆さん暑さのため少し疲れていらっしやっていたので、池にある無料休憩所で10分程休憩する事になりました。休憩を取った後参加者全員で記念写真を撮りました。その後池の周りを時計回りに進んで、次に

1934年に建立された「洗足池弁財天」をお参りしその後、西郷隆盛の死を悼んだ勝海舟が私費で建立した石碑で西郷が沖永良部島に島流しになってから詠んだ詩が刻まれている「西郷隆盛（南洲）留魂詩碑」に立ち寄りしました。次に石碑のすぐ隣にある「勝海舟夫妻の墓」に行き参加者のおの手を合わせました。

このお墓は、1899年に死去した勝海舟。生前からの希望によって池の畔に埋葬され、今もここに勝海舟は奥さんと並んで眠っています。元々ここ洗足池には、勝海舟の別荘が昔あり勝海舟は洗足池の風景がとても気に入っていたようです。またお墓の近くに「勝海舟記念館」が9月7（土）よりオープンすることになっていました。勝海舟夫妻のお墓を後にして「御松庵妙福寺」に行きお寺の中にある日蓮聖人「袈裟掛けの松」を見ました。ここで丁度お昼になったのでボート乗り場の前に全員集合して午前の部は、終わりになりました。その後各々お昼を取ることになりました。ある人は、レストランに入り、ある人は持ってきていた弁当を食べていました。

午後の部は、お昼を取った後午後1時にボート乗り場の前にもう一度集まり午後の部を再開しました。再開後は池の畔を進んで、池月橋を渡り、目の前にある千束八幡神社でお参りをしてからすぐ側にある源頼朝の愛馬「池月号」の銅像を見て、銅像の前でまた記念写真を撮りました。記念写真を撮った後朝の出発地である大岡山駅に向けて出発しました。帰る途中でコース沿いにある東京工業大学の敷地内を通って行って（東京工業大学の敷地内は、校舎に入らなければ自由に通って良いので）大岡山駅に着いて解散となりました。参加された方は暑い中参加して頂き、最後までけがをせずに歩いて頂き



参加者の皆さん

（ご案内） 第45回待機者のための移植術

開催日：11月17日（日） 14時

場所：ハロー貸会議室新宿曙橋3F

講師：三宮彰仁先生（東京女子医科

大学 腎臓外科）

テーマ：「腎移植の基礎知識」

講師：越田里美レシピエント移植コ

ーディネーター（東京女子医

大移植支援室

テーマ：「移植前の準備・移植後のケア」
体験談：生体腎移植、ドナーなど3名

参加ご希望の方はメールまたはFAXにて、11月9日（土）までに申し込みください。

FAX：03-5261-3618（石丸宛）

丸宛）

MAIL：Akebonokai200@hotmail.com

大変感謝しています。ありがとうございました。（松本茂利）

第8回東京歩こう会のお知らせ

今回は山手線駒込駅より出発し、まず六義園（りくぎえん）を訪ね

ます。六義園は五代將軍綱吉の側用人柳沢吉保が自らの下屋敷として造営した大名庭園で、国の文化財保護法で特別名勝に指定されている名園です。特につつじ、桜、紅葉の美しさで知られており、今回は見事な紅葉を楽しむことができます。次に「おばあちゃんの原宿」で知られる巣鴨地蔵通り商店街を目指します。とげ抜き地蔵で知られる高岩寺、江戸六

地蔵の一つである真性寺に参拝したあとは、名物塩大福、美味しき日本一と言われるあんぱん、絶品ランチ等々、160店舗が軒を連ねるエネルギー溢れる商店街で食事やお買い物を楽しむことができます。どうぞお出かけ下さい。

投稿のお願い 編集委員会では
会員の皆様からの投稿を随時受け付けています。

「なかまのたより」に投稿の方、
旅行、趣味、食事会、サークル
活動等内容を問いませんので何
でもお寄せ下さい。

☎ 03-3944-4048

E-mail kikanishi@toujin.jp

柿ゼリー

〈材料〉(1人分)

柿	小1/2個	粉ゼラチン	小さじ1/2
砂糖	小さじ1	水	50ml
レモン果汁	小さじ1/2		

〈作り方〉

- ①柿の皮を剥き、フードプロセッサー等でピューレ状にし、砂糖とレモン果汁を混ぜ合わせる。
- ②水を熱して粉ゼラチンを溶かし、①に混ぜ合わせる。
- ③②を型に流し入れ、冷蔵庫で冷やし固める。



ワンポイントアドバイス

★サンマ

- ・秋の味覚を代表する魚と言えば『サンマ』。毎年9月～10月が旬で、油ののった新鮮でジューシーなサンマが味わえます。身の厚いものは油がのっている証拠。目が澄んでいて、腹に破れないものが新鮮です。
- ・氷詰めの中から選ぶ時は、持った時にピンとしていて、傷の無いものを選ぶとよいです。
- ・サンマはカリウムもリンも控えめで、おすすめできる魚です。

食品名	カリウム(mg)	リン (mg)	※可食部100g 当たり
サンマ 生	190	170	

- ・サンマはシンプルに塩焼き(焼く直前に塩を少なめにふる)が定番ですが、刺身、焼きサンマのおろし酢かけ(大根おろし、合わせ酢※だし汁+酢+砂糖)、サンマの梅酢かけ(減塩3%梅干し+酢)も透析食としておすすめです。

★長芋

- ・長芋の旬は一年に2回あり、『秋掘り』といわれる11月初旬から12月にかけて収穫されるものと、『春掘り』といわれる3月から4月が収穫時期のものに分かれます。『秋掘り』はみずみずしい食感が特徴です。『春掘り』はコクがあり濃厚な味わいです。選ぶ時は表皮の色が肌色でツヤがあり、太くまっすぐなものを選びます。持った時重みを感じられるものは水分が多く新鮮です。

食品名	カリウム(mg)	リン (mg)	※可食部100g 当たり
長芋 生	430	27	

★めかぶ

- ・わかめの根に近い茎の両端にできる「めかぶ」を切り離れたもの。ひだのある独特の形状をしており、粘りが強いのが特徴です。酢の物の他、天ぷら(意外な旨さ)、玉葱とめかぶのマリネ(醤油+米酢)、ミョウガとめかぶ ピリ辛冷や奴(ラー油+酢+醤油)もおすすめです。

食品名	カリウム(mg)	リン (mg)	※可食部100g 当たり
めかぶ 生	88	26	

★キノコ類

- ・キノコは一部を除き、料理をする時は水洗いしないでそのまま使用します。キノコは水溶性の栄養素が多いので、水洗いしすぎると一緒に流れてしまうことがあります。また、キノコの風味も失われてしまいます。ほとんどのキノコは加熱調理をして食べることになり、どうしても気になる時は、キッチンペーパーでさっと拭いて汚れを落とします。ちなみに、水洗いした方がいいキノコは、なめことマッシュルームです。但し、水洗いする時は、調理する直前に流水でさっと流す程度でよいです。洗いすぎると味も風味も落ちてしまうので、注意が必要です。

★柿

- ・柿の旬は10～11月頃になります。柿はサラダ、和え物、ジャム、プリンなど、柔らかくなりすぎたものはシャーベットにしてシャリシャリ感で食べるのも美味しいです。また、皮は乾燥させた後、お湯で煎じて飲む皮茶もおすすめです。

食品名	カリウム(mg)	リン (mg)	※可食部100g 当たり
柿 生(皮むき)	170	14	
干し柿	670	62	

- ※干し柿はカリウムもリンも生柿に比べ、4倍位高くなりますので、注意が必要です。

★減塩のコツ

- ・減塩と美味しさは、塩味以外のうま味、香り、酸味がカギになります。減塩のコツは、だしのうま味をかきさせることです。料理の風味が豊かになり、塩分での味付けは少なくてすみます。昆布やかつお節や煮干しなどでしっかりとだしをとります。だしをとる時間がない時は、市販のだしを利用します。但し、普通のだしの素には塩分が多く含まれているので、使用する量は控えめにします。塩分の少ない減塩だしの素を使用するのもよいです。
- ・香辛料・香味野菜の香り、酢・レモンの酸味も上手に使い、味付けにアクセントをつけるのもおすすめです。

★味覚

- ・味覚は甘味、塩味、酸味、苦味、旨味で美味しさを感じることができますが、実は温度によっても感じ方が変わってきます。甘さは温度が低いほど、感じにくくなり、塩味は温度が低いほど感じやすくなります。「温度と味覚の関係」を知っておくと、エネルギーや塩分のコントロールに役立ちます。

☆次回予告☆

🍴手軽にできる透析食『鶏肉と野菜でおすすめフレンチ』🍴
次回はフランス料理を家で簡単に作れるレシピをご紹介します。
お楽しみに!!

『手軽にできる透析食 ～秋に楽しむ旬の味覚～』

秋は、『食欲の秋』、『実りの秋』とも言われ、四季の中で一番食べ物が美味しい時です。

脂ののったサンマ、香りのよいキノコ、美味しい果実など、秋には美味しい食材がたくさん登場してきます。

今回は、手軽にできる透析食として『秋に楽しむ旬の味覚』をテーマに豊かな秋の味覚をより美味しくいただくためのレシピ、コツ・ポイントをご紹介します。

レシピ等作成 NPO法人東腎協事務局員 須藤 幸子(調理師)
監修 NUTRism(ニュートリズム) 松岡 里和(管理栄養士)



* 1人分 / 1食分の栄養素*

エネルギー	759kcal	タンパク質	21.3g
カリウム	718mg	リン	294mg
塩分	1.9g		

カレー風味サンマの竜田揚げと野菜の素揚げ

〈材料〉(1人分)

サンマ	1匹(60g)	片栗粉	適量
(A) カレー粉	小さじ1/2	揚げ油	適量
塩	小さじ1/5	カボチャ	10g
酒・みりん	小さじ1	人参	10g
しょうが汁	小さじ1		

〈作り方〉

- ①サンマは三枚おろしし、4等分に切る。
- ②①に(A)をからめて10分程おいて下味をつけ、片栗粉をまぶす。
- ③カボチャと人参は2～3mmの細切りにする。
- ④人参はさっと揚げる。

⑤カボチャは表裏を返しながらかき揚げ、色よく、カリッとなる迄3～4分位揚げる。

⑥②のサンマの余分な片栗粉を落として、カリッときつね色のなるまで揚げる。

※美味しく作るコツとして、べちゃっとならないように温度に気をつけ、カリッと揚げる。

※竜田揚げは食材に下味の調味料をからめることで、低塩でありながらしっかりと味を感じられる。今回の『サンマの竜田揚げ』は下味にカレー粉としょうがの絞り汁を加えて風味をプラスしている。

長芋とめかぶのねばねば酢の物

〈材料〉(1人分)

長芋	10g	(A) だし汁・酢	小さじ1
スライスメカブ	20g	減塩醤油	小さじ1/3
おろし生姜	少々	みりん	小さじ1

〈作り方〉

- ①長芋の皮をむいて、5cm位の長さに切り、さらに2～3mm位の厚さにスライスする。
- ②①とスライスメカブと混ぜ合わせる。
- ③食べる直前に②に(A)三杯酢をかけ、おろし生姜を上のにせる。

キノコの炊き込みご飯

〈材料〉(1人分)

白米	80g	人参	5g
油揚げ	5g	(A) かつおだし	100ml
椎茸	10g(1/2個)	(B) 減塩醤油	小さじ1/2
舞茸	10g	酒・みりん	小さじ1
しめじ	10g	塩	少々
ごぼう	5g		

〈作り方〉

- ①米は洗って、ザルに上げ、30～60分おく。
- ②下記の「かつおだしの取り方」を参照し、かつおだしを作る。
- ③キノコ類は石づきを落とし、椎茸は2mmの細切りにする。舞茸・しめじは手でほぐして一口大にする。
- ④ごぼうはさがし、人参は細切りにする。
- ⑤炊飯器に米、(A) かつおだし、(B) 調味料を入れてから、油揚げ・キノコ類・ごぼう・人参を入れ、サッと混ぜて、通常通りに炊く。
- ⑥炊き上がったたら、しゃもじでざっくり混ぜ、余分な水分を飛ばし、10分程蒸らす。

※かつおだしの取り方

- ①鍋に水を入れ、火にかけて沸騰させる。
- ②沸騰したら、火を止め、かつお節を入れる。
- ③かつお節が鍋底に沈むまで、1～2分おく。
- ④ふきん等を敷いたザルにこす。

災害用備蓄米（はんぶん米）の美味しい食べ方

◆はんぶん米の作り方◆

パックを開けて、脱酸素剤とスプーンを取り出します。熱湯または水を袋の内側の黒い線まで注ぎ(160cc)、スプーンでよくかき混ぜます。次にチャックを閉めて、熱湯で約15～20分、水で約60分おきます。

※はんぶん米（1食分）

エネルギー 366kcal

タンパク質 5.1g

食塩相当量 0.5mg

◆パエリア・炊き込みご飯料理編◆

★パエリア風（パエリア：スペインを代表する世界的に人気の料理の一つ）



- ①玉ねぎ1/4個とニンニク1片をみじん切りにし、フライパンに油を入れ炒める。
- ② ①に一口大に切った鶏肉、またはエビ、イカ、むきアサリなど好みの具100g程度を加え炒める。
- ③「はんぶん米」1袋を加え、水300ml、カレーパウダー小さじ2杯を加えて時々かき混ぜなが

ら弱火で煮る。

- ④途中、水50～100ml、を1～2回加えて、かき混ぜながら約15分煮る。

※エビなどが硬くなりそうであれば、取り出して仕上げ時に加える。

- ⑤水気が無くなり、米が食べやすい硬さになったら、ミニトマト2～4個を加え、塩、コショウ、トマトケチャップ各少々を入れ味を調える。好みでカレーパウダーを追加しても良い。

★鶏肉と生姜の炊き込みご飯



- ①鶏肉100gを一口大に切り、生姜は千切りし、フライパンに油（ごま油など）を入れ、炒める。「はんぶん米」、水300mlとつゆの素（3倍希釈用めんつゆ）大さじ1杯を加え、時々かき混ぜながら弱火で煮る。
- ②途中、水50～100ml、を1～2回加えて、かき混ぜながら約15分煮る。
- ③水気が無くなり、米が食べやすい硬さになったら、火を止め盛り付ける。
- ④もみ海苔、炒りごま、青のり、刻み青ネギ0など好みのものをのせる。

◆缶詰等を利用して作るアレンジ料理編◆

★バターチキンカレー混ぜご飯

- ①バターチキンカレー缶を「はん

ぶん米」に混ぜ、お湯を加えて混ぜご飯を作る。

エネルギー 123kcal

タンパク質 7.5g

食塩相当量 1.4mg

★鶏ゴボウ混ぜご飯

- ①鶏ゴボウ缶を「はんぶん米」に混ぜ、お湯を加えて混ぜご飯を作る。

エネルギー 121kcal

タンパク質 7.8g

食塩相当量 1.1mg

★野菜スープの素とごま油の混ぜご飯

準備するもの

野菜スープの素

1パック（食塩1g程度のもの）

ごま油 小さじ1

- ①はんぶん米のパックを開け、脱酸素剤とスプーンを取り出す。
- ②パックに具材（野菜スープの素、ごま油）を入れ、スプーンでかき混ぜる。
- ③内側の線までお湯を入れ、スプーンでかき混ぜ、封をする。
- ④20分おいて、逆さまにし、5分蒸らす。

〈美味しく作るコツ〉

- *油を加えることで、ご飯にツヤとコクとまろやかさを出す。
- *具材を加え、よくかき混ぜ、お湯を入れてさらにかき混ぜる。
- *蒸らすときは上下逆さにする。
- *保存期間が長いものを選ぶ。

本資料は、八王子東町クリニック管理栄養士 高本江利子様 及び府中腎クリニック管理栄養士 福島由香里様のご協力により作成いたしました。

第49次国会請願署名活動が始まりました

2019年10月～2020年2月末

私たちの求める「腎疾患総合対策」のポイントを確認すると、次の通りです。

●国民的な取り組みが必要な腎疾患対策

慢性腎臓病（CKD）の患者は千三百万人を超えと言われ、今や国民病の一つに挙げられています。「沈黙の病気」腎臓病は早期発見・早期治療が重要です。これ以上腎臓病を増やさないためにも、国が慢性腎臓病についての啓発・広報活動を一層強化し、腎疾患対策を国民的取り組みとすることが重要と考えています。

●一刻を争う介護が必要な透析患者への対応

高齢患者の増加や長期透析、糖尿病性腎症を原疾患とする透析患者の増加により、障害の重度化・重複化で介護を必要とする患者が

急増しています。そのため、これらの要介護患者が必要な介護保険制度の拡充が不可欠です。なかでも通院が困難な患者への支援や自宅での生活が困難な透析患者が入居できる施設不足は全国的に深刻な状況で、早急に対策が必要です。

●災害時の透析医療の確保と避難・移動体制の整備

東日本大震災でも明らかになりましたように、1～2日おきに治療を必要とする透析患者は、災害時においても生命を守るために透析医療の確実な確保が必要です。特に介護が必要な透析患者は避難の手助けや通院移動の保障も必要で、それらの体制の整備が求められています。

●臓器移植の普及と再生医療研究の推進

臓器移植は現在、慢性腎不全の唯一の根治的な治療です。しかし日本での献腎移植例はまだまだ少なく、臓器移植の普及推進を進めてほしいと願っています。またIPS細胞などの再生医療については、その成果が早く腎疾患の治療に反映できるように研究が促進されることを希望します。

以上のような「腎疾患総合対策」が実現しているとはまだまだ言えません。国民が腎疾患から守られる日が早く実現されるように強く要望します。

東腎協では東京を始め全国の会員の皆さんと力を合わせ国会請願署名活動に取り組んで行きたいと思えます。

【今後の主な日程】

- 10月中旬に署名用紙を各患者会、個人会員、賛助会員企業等に送付。署名活動開始。
- 署名用紙の締め切りは来年2月末日。東腎協事務局に署名用紙の返送をお願いします。



（患者会に送付する署名簿の仕分け作業。新しい理事さんたちが事務局に駆けつけてくれました）

国会請願について理解を深めよう

まもなく第49次「腎疾患総合対策の早期確立を要望する」国会請願の署名活動が始まります。毎年署名活動をつづけてきましたが、「今年も私たちのことを知ってもらうため、頑張って署名を集めるぞ」と意欲を燃やす人がいる一方、「同じことをして何の意味があるんだ」と首をかしげるひとがいるかもしれない。そこで改めて国会請願について取り上げます。その趣旨やしきみについて理解し、全国の仲間とともに、来年の国会請願にむけ、署名活動に取り組んでいきましょう。（この記事は2017年9月「ぜんじんきょう」283号に掲載された記事をもとに編集したものです）

請願ってそもそも何？

私たちの声を政治に反映させる方法のひとつに「請願」があります。請願は国民が国や地方公共団体に対して、文章を用いて困ったことや願いを伝えることが出来る、日本国憲法で保障された権利のひとつです。国籍や年齢の制限はありません。日本国内に住む海外の人や未成年者、また、海外に住む日本国籍の人も請願することができます。

私たちが国に請願をしたいと思った場合、国会議員（衆議院議員または参議院議員）の紹介が必要

いるのか、どのような願いがあるのか、等々を言葉にして、それをもとに国会議員へはたらきかけることができます。

提出された国会請願の内容は、国会の専門委員会（全腎協の請願は厚生労働委員会）にて、与野党が協議をし、採択すべきものか決めます。つまり、すべての国会議員に私たち患者の実態や願いを知ってもらう最高の機会なのです。

国会請願は、紹介議員の人数が多ければ多いほど関心を向けてもらえますし、署名数が多ければ、それだけ多くの国民が関心を持っているということが議員にもはっきり伝わります。

どんな成果がこれまで得られたの？

国会請願は、採択されても法改正や予算化などを義務付ける強制力はありません。しかし、「請願の事項を所管する官公署は、誠実に受理し処理しなければならぬ」と請願を定める法律にはあるので、無視することはできません。

これまでの国会請願によって、私たち腎臓病患者は様々な制度を改善してきました。もちろんそう

した改善は、国会請願だけで可能になったわけではありませんが、国会請願が大きな力になってきたのは明らかです。昨今の社会保障制度改革の流れのなか、国会請願によって私たちの願いを実現することや、成果を上げることは、必ずしも容易でなくなってきました。

私たちが国会請願を通じて、自分たちの問題を国に理解してもらう努力を怠れば、制度の後退はもつと進んでしまうでしょう。国会請願に集まった署名は、今も昔も変わらず、私たち腎臓病患者の「いのち暮らし」の土台を支えているといえます。

そうして集めた署名こそが、まさに全国の仲間が結集した力であり、結晶なのです。

請願にはなんの意味があるの？

私たちが国の政治にかかわる最も有効な手段は、選挙を通じて国会議員を選ぶことです。しかし皆さんもご存知のとおり、国会議員を選ぶ選挙では、私たちが抱える最も切実な課題が争点になることはそうありません。

それに比べ、国会請願は、私たち患者がどのようなことで困って



「ご寄付御礼」

○扶桑薬品工業（株）

「ご寄付ありがとうございますございました」

「青い鳥・ハガキご寄付御礼」

府中けやき会

あかまつ透析クリニック患者会

柳原腎クリニック健腎会

すながわ相互診療所患者会いずみ

八王子東町クリニック桑の実会

あけぼの東腎会サルビア

腎内科クリニック世田谷患者友の会

日野クリニック腎友会

個人会員 石山久美子

個人会員 末崎美子

個人会員 賀集薫

今後の活動予定

10月26日（日）

臓器移植普及推進

グリーンリボンパレード

10月26日（日）

第150回理事会・三役会

11月2～3日（土・日）

全腎協通院介護研修会

11月23～24日（土・日）

全腎協代表者シンポジウム

11月24日（日）

第151回理事会・三役会

12月1日（日）

全腎協関東ブロック会議（東京）

12月28（金）～1月5日（日）

東腎協事務局年末年休暇

1月26日（日）

第152回理事会・三役会

2月23日（日）

第153回理事会・三役会

3月15日（日）

第31回腎臓病を考える都民の集い

3月19日（木）

第49回国会請願

3月22日（日）

第154回理事会・三役会

10月～3月

第49回国会請願署名運動

編集後記

○「異常気象、観測史上初、命を最優先に」、今夏からこんな言葉ばかりが続いた。

ついに、首都圏に台風が15号、

東京都腎臓移植組織適合性検査費（HLA 検査費）助成事業のご案内

①対象者

都内に住所を有し、人工透析療法を受けている慢性腎不全の方で、献腎移植を希望するため、公益社団法人日本臓器移植ネットワークへ登録する方（公益社団法人日本臓器移植ネットワークへの登録に必要な腎臓移植組織適合性検査費が一部助成されます）。

②助成額

腎臓移植組織適合性検査費用の一部（平成29年度については10000円とします。）

③書類提出及び問合せ先

東京都福祉保健局 保健政策部 疾病対策課 献血移植対策担当
電話 03-5320-4506 FAX 03-5388-1437

東京都と協定を締結しているHLA検査センター	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院	TEL03-3588-1111
	東京医科大学 八王子医療センター	TEL042-665-5611
	東京女子医科大学病院	TEL03-3353-8111
	東邦大学医療センター大森病院	TEL03-3762-4151
その他のHLA検査センター（都内及び近隣3県）	昭和大学病院	TEL03-3784-8000
	埼玉医科大学国際医療センター	TEL042-984-4111
	埼玉医科大学総合医療センター	TEL049-228-3400
	独立行政法人国立病院機構 千葉東病院	TEL043-261-5171
	東海大学医学部付属病院	TEL0463-93-1121
	北里大学病院	TEL042-778-8111
	公立大学法人横浜市立大学付属病院	TEL045-787-2800

19号と続いて、関東一円は大水害、大停電に見舞われた。携帯に「アラート」がひっきりなしにかかってくる。街中には避難警告の消防車が走っている。しかし、いざ避難しようと思っても、どこが避難所かわからない。

透析クリニックは、曜日、時間を変更し、時間も短縮している。だから、今こそ「東腎協」の会員

だからこそ得られる「災害時のネットワーク情報」が必要なのだ。（本号特集参照）

○こんな最中に、内閣改造だの、就任祝賀会だの、国事の予行訓練だの、国民無視の日常に怒りすら覚える。いまだ避難所暮らしの人々もたくさん居るといふのに。

板橋

〈事務局雑感〉

■初めに、大島の皆さん、台風15号、大丈夫でしたか？立て続きに19号が襲い被害は大きくなっていませんか？お見舞い申し上げます。大島以外の皆さんも大丈夫でしたか？

私の通院している病院では、19号対策で午後透析は中止になりました。午前の透析開始時間が早くなり、時間も短縮になりました。午後の方たちは土曜日の午前に、金曜日に振り替えたりしていました。スタッフの方も2時頃帰宅出来たそうです。

今年はお見舞い申し上げます。心よりお見舞い申し上げます。さて、私は台風19号が関東・東北に上陸時、父の命日の為青森へ帰省しておりました。帰る予定の日は東北新幹線他路線すべて運休し、翌日約10時間かけてようやく東京の自宅に着きました。今回の大型台風により水害や土砂崩れなど想像できない事が発生しており、自然災害に対してその危険を回避す

る術を身に着ける備えが必要だと痛切に感じている次第です。須藤

私は立川市内に40年ほど住んでいます。昔から馴染みのある日野橋（旧甲州街道）が台風の被害で現在、通行止めになっています。

日野橋は、多摩川に架かる立川市と日野市を結ぶ橋で、仲の良い高校時代からの友人の家に徒歩で遊びに行く時に必ず利用する慣れ親しんだ橋でした。日野橋から多摩川の様子を眺めながら歩くのが好きで、多摩川を泳ぐ魚や鳥、釣りをする人々等を観察するのが、私の日野橋を渡る時の楽しみです。

その日野橋が、橋脚一本が沈下して波打つように陥没。衝撃と共にシヨックをうけました。テレビでは、一度も放送されなかった情報でした。全国各地でも地域の方しか知らない情報や真実がたくさんあるのだと、改めて感じました。私は自然災害の怖さと共に、各地域、各県の災害対策の大切さを感じます。被害にあった患者会、個人会員の皆さまの生活環境がいち早く元に戻りますよう、心よりお祈りいたします。松山

台風19号は関東、甲信越、東北地方の各地に甚大な被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、被災地の一日も早い復旧を心より願っています。

東京都においては、10月12日の真夜中に二子玉川駅付近で多摩川が氾濫したとの報道がありました。東京都透析医会の災害対策委員長は、ハザードマップより浸水の可能性のある2つの透析施設を特定し、被害がなかったことを迅速に確認し情報共有しています。

また、東京都透析医会の災害対策委員会では、首都圏を直撃するとの予報がされた10日にメーリングリストで情報共有を始めています。結果として13日の段階で、多摩部で

は浅川の支流で氾濫があったものの、施設の被害の報告はないこと、区部では土曜日の透析を日曜に振り替えた施設もあるが、約130施設からの連絡では、透析ができない施設はないという確認が迅速になされました。

今年の9月より、このような情報が、東腎協にリアルタイムで入ってくるようになりました。災害に透析医療を確保していくために、東腎協も情報共有の仕組みを早期に構築して行く必要があります。

災害対策委員長 戸倉 振一

Table with multiple rows of text, likely a list of members or a detailed report. The text is small and dense, containing names and organizational affiliations.

台風19号の影響に対する東京都透析医会災害対策委員会のメーリングリストによる情報共有の経過